

CEVGW

C h e a p E a s y G o a l V i d e o W a t c h V e r 1 . 3 0

操作説明書

yorozukosiraeya

萬拵屋 *by l-system service*

<<http://www.yorozukosiraeya.eek.jp>>

アプリケーションを起動すると

のウィンドウが表示されます。

<競技タイトルの入力>

ここに記録する競技のタイトルを設定します。

起動時には直前に使用していたタイトルが表示されます。

必要に応じて変更します。

また「既存タイトル参照」ボタンでフォルダー選択ダイアログを表示します。

このダイアログ（ユーザードキュメントフォルダー）での「CEGVW」フォルダー内の過去に作成されたフォルダーで選択することも可能です。

この名前のフォルダーが「User¥Document¥CEGVW」フォルダー以下に作成されます。（このためフォルダー名に使えない文字は使用できません）

<カメラ番号>

Windowsで認識されるイメージングデバイスのカメラ番号で0から始まる番号を入力します。通常標準的なUSBカメラを1台のみ接続すると「0」になります。

<FPS>

対象のカメラのフレームレートを入力します。

「中止」をクリックすることでアプリケーションを終了します。

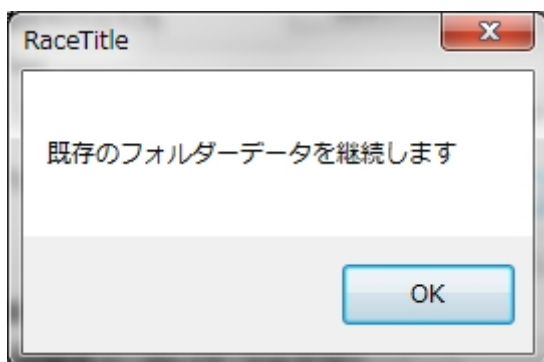
「OK」をクリックすることで次の状況に移行します。

- 1：競技タイトル名のフォルダーがない場合はその名称のフォルダーを作成してアプリケーションに制御が移ります。

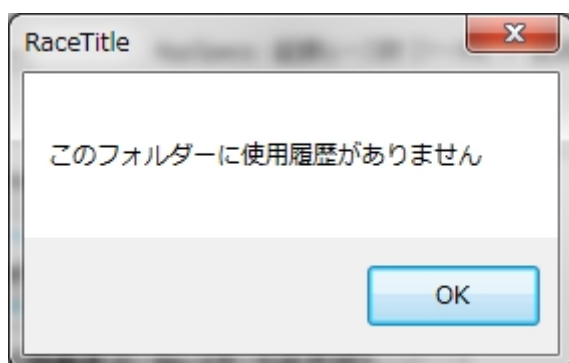
またフォルダーが存在した場合は、「Race Title」のメッセージを表示して

そのフォルダーに含まれるアプリケーションが保存した「Data.xml」を読みだして前回の起動時の状態を継続します。

フォルダーの内容をアプリケーション以外が操作した様な場合はその後のアプリケーションの動作は不定です。

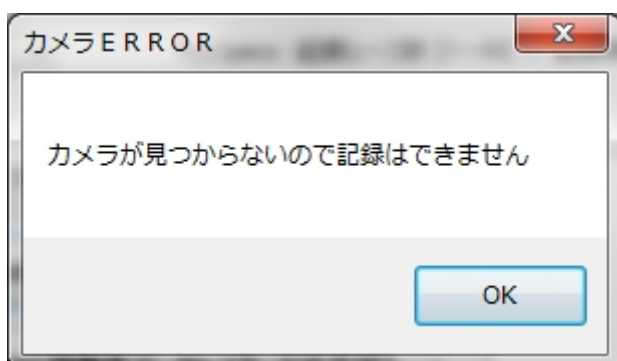


また継続にあつて、そのフォルダーに使用履歴がない場合（フォルダーはあるが、アプリケーションでのデータ等が存在しない・・・レース記録していない場合等）には次のメッセージも表示されます。



2：設定のウインドウが閉じてカメラがチェックされます。

この時指定のカメラが存在しないと「カメラERROR」のメッセージを表示します。



カメラの接続されていない状態ではレースの記録はできません。

アプリケーションの動作



< RaceTitle >

先に入力された競技タイトルが表示されます。

< VideoFileNo >

現在の操作対象となっているレースビデオ番号を表示します。

上記は「レース番号2」で計時準備開始時刻が22時51分42秒で、現在の記憶レース数は2個を意味します。

< File Back >

対象レース番号を前に戻していきます。

< File Next >

対象レース番号を次に進めます。

< VideoMemo >

レース録画での状況、実際のレース番号、その他メモなどをテキストで記録できます。編集後は横の「Memo 更新」ボタンの文字色がオレンジに変わり、このボタンをクリックすると記憶されます。記憶されないまま次のレースの録画に移行した場合はメモはクリアされ、ボタンの文字色は赤に変わり編集分は保存されなかったことを表します。この際はそのレース終了後、「No Back」ボタンで編集していたレースを呼び出し再度編集して更新してください。

ただし VideoFile が存在しない場合（まだ記録されていない最初の状態）は対象レースビデオがないため無効となります。

< Text,Line Col >

カメラ画像に表示するゴールライン・時間値の表示色を選択します。「白・赤・緑・青・黒」が選択可能です。カメラ画像表示時（Test View）、レース録画時（Standby）に反映されます。録画表示時（Review）は録画されたライン色が表示されます。

< AppSpecs >

このアプリケーションで記録できる最大数を表示しています。

< Result >

対象レースの記憶されたリザルトを表示します。

< TestView >

カメラの画像を表示します。

< Standby >

レース番号を+1（新規レースデータを追加）してカメラ画像を表示します。

< ReView >

RaceNo で表示されているレースの録画画像を表示します。

< <<Rev >

録画画像を高速で戻します。（押している間）

< Rev >

録画画像を戻します。（押している間）

< RevStep >

録画画像を1コマ戻します。

< FwsStep >

録画画像を1コマ進めます。

< Fwd >

録画画像を進めます。（押している間）

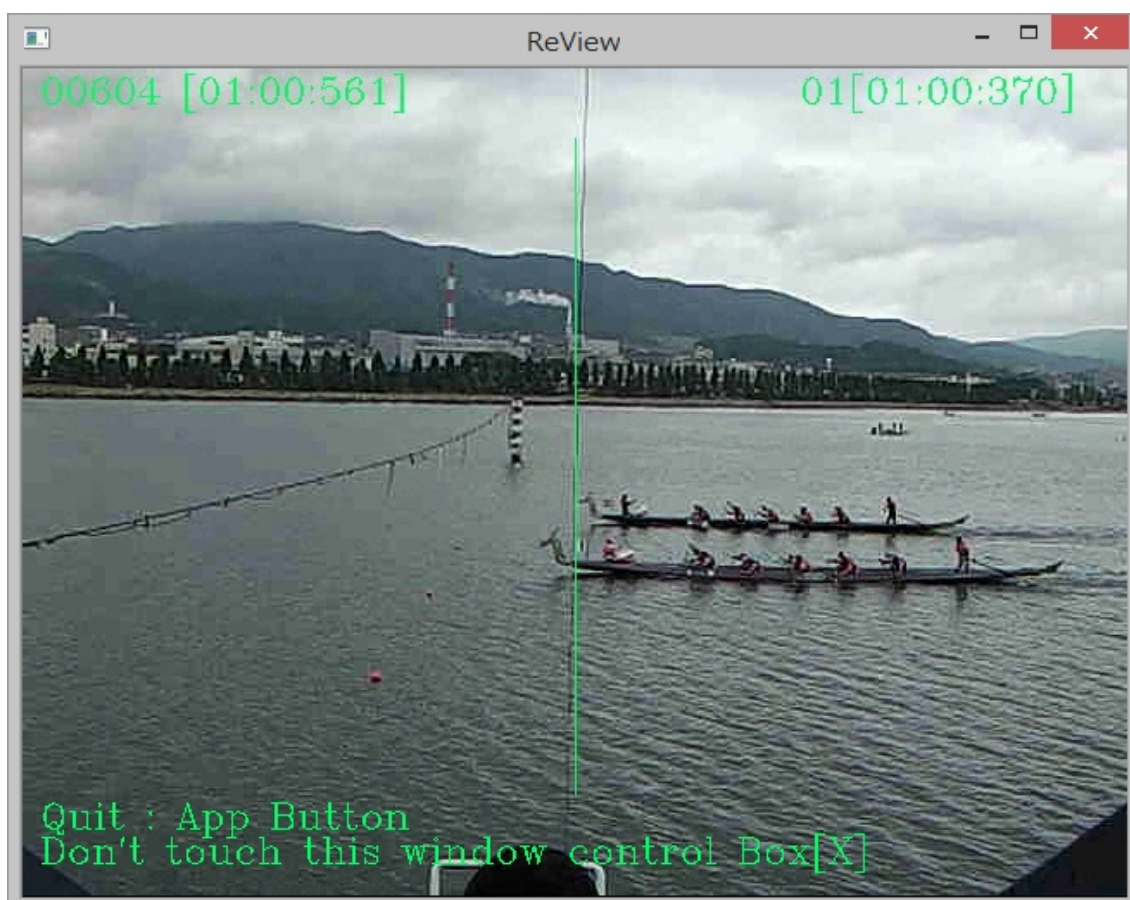
< >>Fwd >

録画画像を高速で進めます。(押ししている間)

個々の操作でカメラ画面を表示している状態ではその状態に必要なボタン以外は受け付けません。

録画サンプル

(ライン色は緑で録画しています。)



T e s t V i e w動作

「TestView」のクリックで開始され、カメラ画像を別ウィンドウで表示します。

再度「TestView」をクリックするとカメラ画像ウィンドウを閉じます。

閉じる操作は「ESCキー」でも可能です。

計時動作

「Stanby」のクリックで開始され、カメラ画像を別ウィンドウで表示します。

「スペースキー」でも開始できます。(他動作がされてないとき：TestView, ・ ReView)

カメラ画像が表示されたこの状態はタイム計測の待機状態です。

さらに「スペースキー」を押すことでタイム計測を開始します。(左上にカメラフレーム

番号と時間が表示されます・・・この時間はそのフレームをキャプチャーした時間です)

もう一度「スペースキー」を押す録画が開始されます。(先頭がゴールする手前で開始すればいいと思います・・・それ以前はゴール画像は意味ありませんので)

この状態以降「スペースキー」を押すことでその着順時間が記録されていきます。

この時間はスペースキーの押された時のストップウォッチ時間で録画されるフレームの時間とは別になります。

この着順時間は画面右上に1位から順に表示されます。

「ESCキー」を押すこともしくはアプリケーションの「Stanby」を再度クリックすることでこのレースを終了します。

この時フォルダー内に「R e s u l t . t x t」として計時記録をファイルに追記するとともに録画した動画ファイル「RaceXX-HHMMSS.avi」(XXはレースビデオ番号、HHMMSSは準備開始時間)をフォルダー内に保存してカメラ画像ウィンドウを閉じます。

ReView動作

「ReView」のクリックで開始され、録画画像を別ウィンドウで表示します。

開始時は最後のフレーム（レース終了時）を表示します。

「<<Rev、Rev、RevStep、FwdStep、Fwd、>>Fwd」の各ボタンで画像を送り戻しできます。

この動作の終了はアプリケーションの「ReView」を再度クリックすることで終了します。

各動作時における注意事項

画像表示画面でのウィンドウ上部にある「最少」「最大」「閉じる」等の操作はしないでください。操作は「スペース」・「ESC」とマウス操作になります。

またメモ記入時は通常のテキスト入力になります。

保存されているファイル

ウィンドウズの共有フォルダーに作成した「CEGVW」フォルダー内のレースタイトルフォルダーには次の3種類のファイルが保存されます。

<Data.xml>:

レース終了時におけるアプリケーションの状態データで、継続起動時に前回のアプリケーション終了時の情報を取得するため内部データをシリアルライズして利用しています。

<Result.txt>

レース結果をカンマファイルで追記記録しています。

記録例

```
-<RaceNo>----- レース番号+計時準備開始ボタン操作時の時間を記録
Race01-225129

-<RaceMemo>----- そのレースでのメモを記録

-<StartTime>----- 最初のスペースキー操作によるスタート時間
スタート時間 22:51:32 (このあと次のスペースキー操作で録画開始(先頭ゴール前))

-<Result>----- 録画開始以降のスペース操作(ゴール記録)でのリザルト
01位 >> タイム 00:02:615
02位 >> タイム 00:03:477
03位 >> タイム 00:04:343
04位 >> タイム 00:05:076

-----
次のレース記録です

-<RaceNo>-----
Race02-225142

-<RaceMemo>-----

-<StartTime>-----
スタート時間 22:51:43

-<Result>-----
01位 >> タイム 00:03:014

-----
```

<RaceXX-HHMMSS.avi>

XXはレース番号、HHMMSSは準備開始時間で作成したファイル名の各レース録画ファイルです。

記録容量

記録可能最大レース数：99

1レースあたりの順位記録数：20（1～20位）

記録レースの録画ファイル（AVI）を出力。（最大10分程度を限度としてください）

動作可能パソコンに関して

アプリケーション動作においてはインテルi3程度以上（できればi5以上）のパソコンを推奨します。

遅いパソコンでは録画書き出し時等で操作遅延が発生する可能性があります。

またVista等でのHDDアクセスの多いOS等でも操作遅延の可能性がります。

接続可能WEBカメラ（キャプチャーインターフェース）

現在作者での確認は「I O-D a t a社製GV-USB2」にて確認を行っています。

フレームレートは30FPS程度で（インテルi3仕様デスクトップPC）可能な様です。

注意事項

競技の計時には必ず正規のストップウォッチ等を使用して、本アプリケーションはその補助装置としてご利用をお願いします。

*Windowsのため時計は正確ではありません

*いつアプリケーションフリーズしてもおかしくありません。

*作者は一切のその責任を負いません（負えません）。

インストール・アンインストール

インストールはsetup.exeを実行してください。

アンインストールはWindowsの「プログラムと機能」からアンインストールしてください。また新しいVerをインストールするときは古いVerをアンインストールしてからインストールしてください。

謝辞

アプリケーション製作にあたり実際のレースでテスト使用させていただきましたドラゴンボート大会開催の皆様には厚く御礼申し上げます。

またライブラリにはO p e n C VおよびO p e n C v S h a r pを利用させていただきました。

Copyright (C) 2016 - yorozukosiraeya All rights reserved.

2016.04.14

更新履歴

2014.08.25 Ver1.00 初版

2014.08.31 Ver1.10

操作 I F 等を改良

2014.09.15 Ver1.20

バグ修正およびメモ機能追加

2014.10.05 Ver1.21

L i n e C o l の設定追加と他不都合部分の修正

2015.08.07 Ver1.22

カメラ未接続で起動した場合に既存レースフォルダーを削除してしまうバグの修正。
データ保存先共有ドキュメントに「C E G V W」の専用エリアを作成するように変更。
起動時に既存レースタイトルフォルダーをダイアログで指定できるように機能追加。
録画時のフレームレート指定等が 1 5 固定になっていたバグ等を修正。

2016.04.14 Ver1.30

時々フリーズする（録画時）のバグを修正。

（10～20分程度の録画でフリーズしないことを確認）

テキスト、ライン選択色をレジストリに保存するように修正。

計時開始直後から録画開始していた機能をゴール直前から録画開始できる様に修正。

